

## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

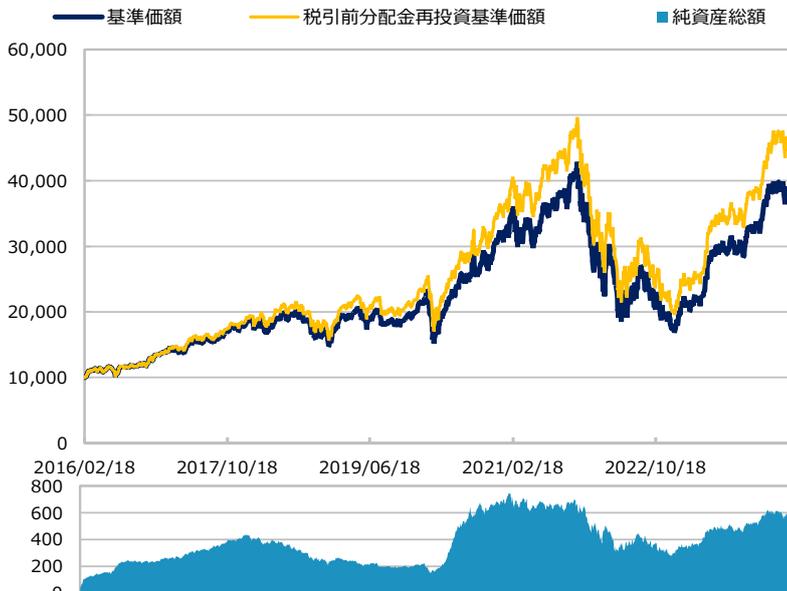
【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 株式

作成基準日：2024年05月31日

ファンド設定日：2016年02月19日

日経新聞掲載名：USテクノ

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

|            | 当月末    | 前月比    |
|------------|--------|--------|
| 基準価額（円）    | 40,364 | +1,243 |
| 純資産総額（百万円） | 60,170 | +873   |

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

|      | 基準日        | ファンド  |
|------|------------|-------|
| 1 か月 | 2024/04/30 | 3.2   |
| 3 か月 | 2024/02/29 | 5.1   |
| 6 か月 | 2023/11/30 | 26.7  |
| 1 年  | 2023/05/31 | 50.0  |
| 3 年  | 2021/05/31 | 26.8  |
| 設定来  | 2016/02/19 | 382.2 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

| 期     | 決算日        | 分配金   |
|-------|------------|-------|
| 第4期   | 2020/02/26 | 630   |
| 第5期   | 2021/02/26 | 990   |
| 第6期   | 2022/02/28 | 0     |
| 第7期   | 2023/02/27 | 0     |
| 第8期   | 2024/02/26 | 1,180 |
| 設定来累計 |            | 4,300 |

- ※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

|     | 当月末   | 前月比  |
|-----|-------|------|
| 株式等 | 98.3  | -0.2 |
| 先物等 | 0.0   | 0.0  |
| 現金等 | 1.7   | +0.2 |
| 合計  | 100.0 | 0.0  |

## 基準価額の変動要因（円）

|     | 計      | インカム | キャピタル  |
|-----|--------|------|--------|
| 株式等 | +1,287 | +16  | +1,271 |
| 先物等 | 0      | 0    | 0      |
| 為替  | +18    | -    | -      |
| 分配金 | 0      | -    | -      |
| その他 | -61    | -    | -      |
| 合計  | +1,243 | +16  | +1,271 |

- ※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。  
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号  
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント



# USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 株式

作成基準日：2024年05月31日

## 組入上位10業種 (%)

|                    | 当月末  | 前月比  |             | 当月末 | 前月比  |
|--------------------|------|------|-------------|-----|------|
| 1 半導体・半導体製造装置      | 37.6 | +1.8 | 6 自動車・自動車部品 | 1.9 | -0.2 |
| 2 ソフトウェア・サービス      | 33.0 | -1.5 | 7 メディア・娯楽   | 1.8 | -0.5 |
| 3 テクノロジ・ハードウェア・機器  | 11.9 | +1.0 | 8 消費者サービス   | 1.5 | -0.3 |
| 4 金融サービス           | 4.8  | +0.4 | 9 資本財       | 1.1 | +0.1 |
| 5 一般消費財・サービス流通・小売り | 4.8  | -1.0 |             |     |      |

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

## 組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 35)

| 銘柄/業種                                   | 比率  | コメント  |
|---|-----|---|
| 1 アップル<br>テクノロジー・ハードウェア・機器              | 9.0 | パソコン、スマートフォンなどを開発、製造するデジタル家電製品メーカー。iPhone、iPad、パソコンのMacシリーズなど人気製品の他に、関連ソフトウェアや周辺機器の開発、製造、販売を手掛ける。                                   |
| 2 エヌビディア<br>半導体・半導体製造装置                 | 8.8 | 「GPU」と呼ばれる画像処理半導体のトップ企業。従来のゲーム向けに加えて、データセンター向けが成長を牽引。AI（人工知能）、自動運転、メタバース（巨大な仮想空間）向けなどGPUの事業領域の拡大により更なる成長が期待できる。                     |
| 3 マイクロソフト<br>ソフトウェア・サービス                | 8.7 | WindowsやOfficeを提供する世界最大級のソフトウェア会社。新経営陣がOS無償化やクラウド事業に注力しておりアマソンのAWS（Amazon Web Services）に次ぐシェアを獲得している「Microsoft Azure」に注目。           |
| 4 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ（AMD）<br>半導体・半導体製造装置 | 8.1 | 半導体メーカー。マイクロプロセッサ、チップセット、フラッシュメモリ、グラフィックボード、GPU、マルチメディア製品などを製造。クラウドコンピューティング向けのデータセンター分野におけるサーバー・ハードウェア事業も展開。                       |
| 5 KLAテンコール<br>半導体・半導体製造装置               | 6.7 | 売上規模で世界5位の半導体製造装置メーカー。半導体チップの欠陥を見つける検査装置を強みとし同市場で50%超のシェア。半導体チップの小型・複雑化に伴い同社製品に対する需要増加や新商品である最先端ICデバイス向け欠陥検査装置「Gen5」に期待。            |
| 6 シノプシス<br>ソフトウェア・サービス                  | 6.4 | 半導体設計ソフトウェア企業。設計、検証、製造段階と幅広い開発工程で製品を提供し、品質の高い半導体を迅速に開発するためのソフトウェアを提供する。半導体の高度化が進む中で同社への需要の拡大が期待される。                                 |
| 7 アマゾン・ドットコム<br>一般消費財・サービス流通・小売り        | 4.8 | オンライン小売世界最大手。クラウドサービスでは、業界リーダーの地位を確立。利益率の高い「Amazon Web Services（クラウド）」と、小売の「Amazonプライム（会員制サービス）」、オンライン広告の業績への貢献度が高く、今後さらなる成長が期待できる。 |
| 8 アクセンチュア<br>ソフトウェア・サービス                | 4.0 | コンサルティング企業。経営等へのコンサルティングサービスのほか、アウトソーシング事業も展開。企業のDXが進みコンサルティングへの需要が高まるなかで、長期での成長性が期待できる。  |
| 9 アナログ・デバイセズ<br>半導体・半導体製造装置             | 3.7 | 半導体製造大手。高成長が期待されるEVやクリーンエネルギー市場向けにアナログ半導体を製造。同社のアナログ半導体は利益率が高く、IOTの流れの中で、様々な産業において需要増加が見込まれることから、今後も安定して高い利益成長が見込まれる。               |
| 10 サービスナウ<br>ソフトウェア・サービス                | 3.2 | クラウド上で企業に情報システムの運用管理サービスを提供する大手企業。企業のIT部門の業務効率化に貢献し、現在は人事や法務、セキュリティなど様々な業務に適用領域を拡大しており、更なる成長が期待できる。                                 |

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号  
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント



## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

※ このページはティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

## ＜市場動向＞

5月の米国株式市場は上昇しました。金融政策に対する警戒感が広がっていたものの、FOMC（米連邦公開市場委員会）でパウエル議長が利上げ再開に対して否定的な見解を示したことを好感しました。雇用統計は市場予想よりも弱い内容となったことから、早期の利下げ期待も浮上し、株式市場の押し上げ要因となりました。中旬にS&P500インデックスが史上最高値を更新した後は、材料出尽くし感から上値の重い展開となりました。月を通じて見ると、AI（人工知能）関連市場の成長により好決算を発表したエヌビディアなどを中心に、ナスダック総合指数の上昇が目立ちました。為替につきましては、米ドル/円は、一進一退となりました。月初、急速に円高が進んだことから、政府・日銀が円買い介入に踏み切ったとの観測が広がりました。しかし、日米の金利差は依然大きいままとの見通しから徐々に米ドルが買い戻され、月末には前月末と概ね同水準となりました。

## ＜運用経過＞

5月のマザーファンドの基準価額は上昇しました。投資している主な銘柄につきましては、製造および物流アプリケーション向けマシンビジョンシステム（画像計測処理装置）の世界的リーダーであるコグネックスは、物流および半導体産業の成長により、四半期決算で予想を上回る売上高と利益を発表し、株価が上昇しました。同社の製品・ソフトウェアは、製造、検査、製品の追跡という各種製造業における検査や確認工程の自動化に使用されており、当ファンドは、同社の製品とソフトウェアは技術的なリーダーシップをとっていることや顧客からの高い評価により、今後大きな成長軌道が築かれると考えています。

5月の主な売買では、顧客企業に管理ソフトウェアを提供する大手SaaS（クラウド上で提供されるソフトウェア）プロバイダーであるサービスナウの株式を魅力的なバリュエーション（投資価値評価）であったため、追加購入しました。また、集積回路、ソフトウェア等を設計および製造する高品質の半導体デバイス製造企業であるアナログ・デバイセズの株式を追加購入しました。一方で、エヌビディアやアマゾン・ドット・コムは利益を確保するため、一部株式を売却しました。

## ＜市場見通し及び今後の運用方針＞

5月の米国株式市場は、全体的に株価は堅調に推移しました。当ファンドにおきましては、AIを含むテクノロジー関連企業や革新的で競争力のある技術やビジネスモデルを有する企業等に投資をしていきますが、AI以外の分野においても持続的に成長する市場で、基幹技術を保有し、革新を続けている企業を見つけることにも重点を置いて投資先を発掘していきます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

## ファンドの特色

- USテクノロジー・イノベーターズ・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、主として米国の上場株式の中から、情報技術の開発、進化、活用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
    - 主として情報技術関連事業を行う企業（以下、「情報技術関連企業」といいます。）の中から、革新的な技術・サービス等により高い成長が期待される企業の株式を厳選します。
    - ファミリーファンド方式により運用を行います。
    - \* 上場株式には、不動産投資信託（REIT）も含まれます。
    - \* 情報技術関連事業とは、ソフトウェア、ハードウェア、半導体、通信機器、情報処理サービス、通信サービス、電子商取引、メディア等に関連する事業にとどまらず、情報技術を活用した新しい事業も含まれます。
  - 情報技術関連企業への投資に強みをもつティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクが実質的な運用を行います。
    - マザーファンドの運用にあたっては、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
  - 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

## ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

## ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

## 投資リスク

## ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

## お申込みメモ

## 購入単位

当初購入の場合 1万円以上1円単位

追加購入の場合 1万円以上1円単位

投信自動積立の場合 1万円以上1千円単位

※ 当ファンドの保有残高がある場合または「投信自動積立」をすでに申込の場合を「追加購入」といいます。

## 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

## 購入代金

三井住友銀行の定める期日までにお支払いください。

## 換金単位

1円以上1円単位

## 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

## 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 信託期間

無期限（2016年2月19日設定）

## 決算日

毎年2月26日（休業日の場合は翌営業日）

## 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。

ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

## お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
 

購入時手数料（消費税込）は、購入代金（購入金額（購入価額〔1口当たり〕×購入口数）に購入時手数料（消費税込）を加算した額）に応じて、以下の手数料率を購入金額に乗じて得た額となります。

|             |                  |
|-------------|------------------|
| （購入代金）      | （手数料率）           |
| 1億円未満       | 3.30%（税抜き3.00%）  |
| 1億円以上5億円未満  | 1.65%（税抜き1.50%）  |
| 5億円以上10億円未満 | 0.825%（税抜き0.75%） |
| 10億円以上      | 0.55%（税抜き0.50%）  |

※「分配金自動再投資型」において、分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 信託財産留保額
 

ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
 

ファンドの純資産総額に年1.903%（税抜き1.73%）を上限とする率を乗じた額です。  
信託報酬率は純資産総額に応じて逓減します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- その他の費用・手数料
 

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
 

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。  
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント



## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

## 委託会社・その他の関係法人等

|        |   |
|--------|---|
| 委託会社   | ファンドの運用の指図等を行います。<br>三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号<br>加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会<br>ホームページ：https://www.smd-am.co.jp<br>コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） |
| 受託会社   | ファンドの財産の保管および管理等を行います。<br>株式会社りそな銀行   |
| 販売会社   | ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。<br>株式会社三井住友銀行  |
| 投資顧問会社 | ファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。<br>ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク  |

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2024年05月31日

## 投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.